

## 東芝浴室換気乾燥機応用部材 取付説明書

## DVB-23AT買替用アタッチメント

形名 DBT-23A

このたびは「DVB-23AT買替用アタッチメント」をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの「DVB-23AT買替用アタッチメント」を正しく取り付けいただくために、この取付説明書をよくお読みください。

本製品は東芝浴室換気乾燥機 DVB-23AT を DVB-18ST（3室換気用）、DVB-18SW（2室換気用）に買替える場合に使用する応用部材です。

浴室換気乾燥機本体を取り付けるときは、浴室換気乾燥機付属の取付説明書に従って工事をしてください。

この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

表 示	表 示 の 意 味
<b>⚠ 警告</b>	誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
<b>⚠ 注意</b>	誤った取り扱いをすると人が* <sup>1</sup> 傷害を負ったり、* <sup>2</sup> 物的損害の発生が想定される内容を示します。

## 図記号の例

図記号	図 記 号 の 意 味
<b>● 強制</b>	は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、の中や近くに文章や絵で示します。

\*<sup>1</sup> 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。

\*<sup>2</sup> 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

**⚠ 警告**

電源は単相AC100Vを使用する  
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の  
恐れがあります。

アース工事を必ず行う

故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあり  
ます。アースの取付は販売店や電気工事店を通  
じ、電気工事士へ依頼してください。



強制

**⚠ 注意**

電気工事は電気設備技術基準や内線規程に基づ  
き、電気工事士が行う

電気工事士以外の方が工事をする、火災・感電・け  
がの恐れがあります。

電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工  
事店にご相談ください。

取り付けの際は手袋を使う

板金部品などの切り口や突起・角などでけがをする恐  
れがあります。

強度のある所に確実に取り付ける

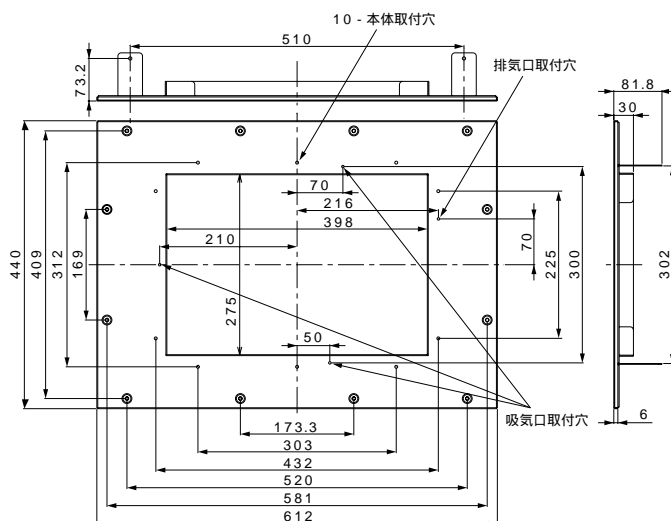
落下により、けがをする恐れがあります。



強制

## 外形図

## 取付枠



## 付属品

取付枠 .....1個

天吊金具 ...4個

皿小ねじ（M5×L80）.....4本（取付枠用）

皿小ねじ（M5×L30）.....12本（取付枠用）

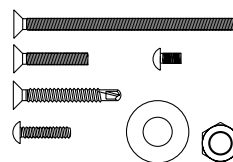
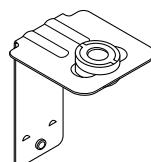
皿ドリルねじ（5×L35）.....8本（取付枠用）

トラス3種タッピンねじ.....14本（排気口・吸気口・  
遮へい板・本体用）

トラス小ねじ（M4×L8） .....4本（天吊金具用）

ワッシャー（M5用） .....12個（取付枠用）

ナット（M5用） .....12個（取付枠用）



# 天井への取り付けかた

## 1 既設製品の取りはずし

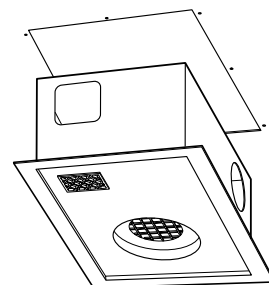
電気工事に関しては、4ページの配線図を確認してください。

既設の浴室換気乾燥機（DVB-23AT）製品取付枠、吸気口、排気口、リモコンを取りはずしてください。

天吊取り付けの場合は天吊金具も取りはずしてください。  
トイレスイッチが接続してある場合は、トイレ用リモコン  
およびトイレ用リモコンケーブルも取りはずしてください。

お願い

- ・換気扇の落下に注意して取りはずしてください。
- ・取りはずしの際は危険ですので、作業は必ず二人以上で行ってください。



## 2 ダクトの切断および接続

既設の浴室換気乾燥機（DVB-23AT）をはずした後に、既存のダクトと不燃アルミ製

フレキシブルダクト（別売：DV-14JA）を接続します。

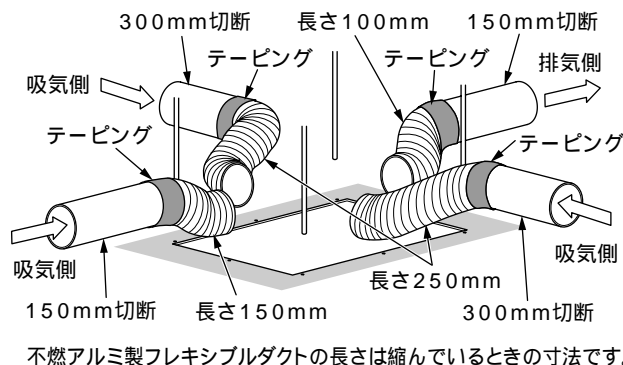
吸気口および排気口からはずした既存のダクトを切断（右図に示す長さ）してください。

スパイラルダクトと不燃アルミ製フレキシブルダクトの接続

は、パイプ継手（別売DV-14PT）を使用してください。

風漏れのないように接続部にテーピングしてください。

吸気方向は3方向から選択してください。



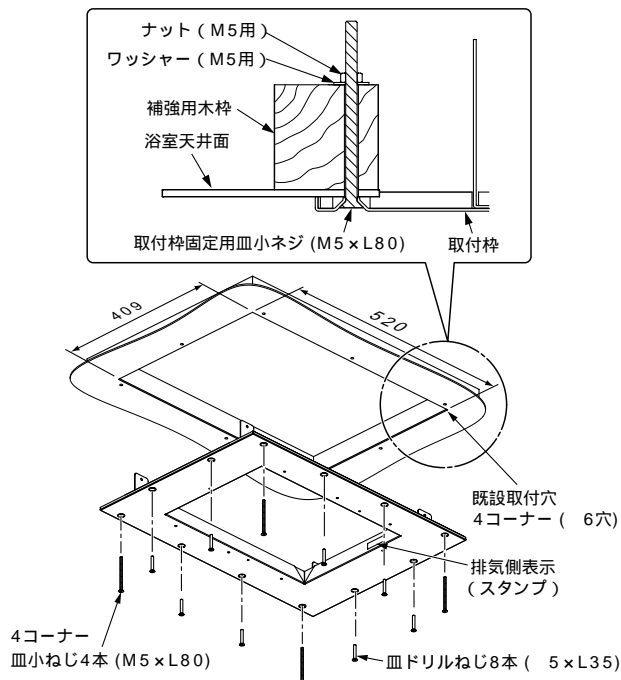
お願い

- ・不燃アルミ製フレキシブルダクトは国土交通省承認の不燃ダクトを使用してください。

## 3 取付枠の取り付け

排気方向を確認し、取付枠を取り付けます。（取付枠用のねじ・ナット類は取り付け方法によって、使用しないものがあります。）

### 補強材に取り付ける場合



既設の取付穴（4コーナー）を利用し、付属の皿小ねじ（4本、M5 x L80）およびワッシャーとナットで取り付けます。  
他の8カ所は付属の皿ドリルねじ（5 x L35）で取り付けます。  
新たに補強材に取り付ける場合は補強材に穴を開けてください。

お願い

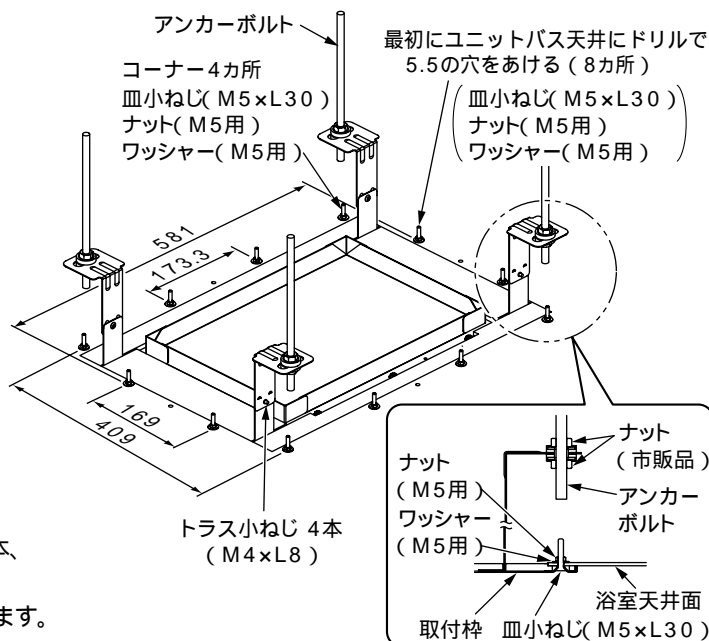
- ・製品の質量（約10kg）に十分耐えるように、補強材が天井にしっかり固定してあることを確認してください。

### 天吊取り付けの場合

天吊取り付けの場合は、付属の天吊金具を使用してください。

天吊金具4個をアンカーボルトに差し込み、付属のトラス小ねじ（4本、M4 x L8）で取り付けます。

市販のナットで天吊金具をアンカーボルトに固定します。



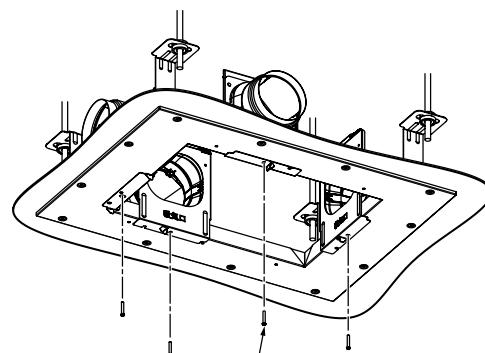
既設の取付穴（4コーナー）を利用し、付属の皿小ねじ（4本、M5 x L80）およびワッシャーとナットで取り付けます。  
他の8カ所は、最初にユニットバス天井にドリルで 5.5 の下穴をあけた後、4コーナーと同様に付属の皿小ねじ（8本、M5 x L30）およびワッシャーとナットで取り付けます。

## 4 排気口・吸気口・遮へい板の取り付け

外形図を参照し、排気口・吸気口・遮へい板を取り付けます。  
(取り付けかたの詳細は買替製品に同梱の取付説明書を参照願います)  
付属のトラス3種タッピンねじ(4本、M4×L25)で取り付けます。

お願い

- ・外形図を参照して、排気口・吸気口・遮へい板の取り付け位置を確認してください。
- ・補強板に取り付ける場合で、補強材の厚みが天井板を含め30mm以上のときは、排気口および吸気口が取り付けできない場合があります。その場合は、その部分だけ補強材を30mm以下にカットしてください。(右下図参照)



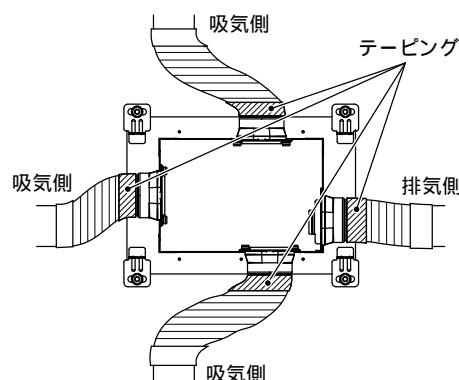
トラス3種タッピンねじ(M4×L25) 4本

## 5 ダクト接続

排気口、吸気口に不燃アルミ製フレキシブルダクトを接続します。  
風漏れのないように接続部にはテーピングしてください。  
吸気方向は3方向から選択してください。

お願い

- ・排気口と吸気口の方向を間違えないように注意してください。
- ・排気口および吸気口のシャッターを開閉させたときに、不燃アルミ製フレキシブルダクトと干渉しないよう注意してください。

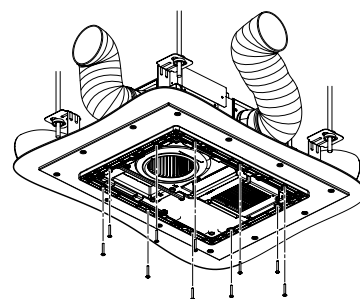


## 6 本体の取り付け

本体を取付枠に取り付けます。  
付属のトラス3種タッピンねじ(10本、M4×L25)で取り付けます。  
(取り付けかたの詳細は買替製品に同梱の取付説明書を参照願います)

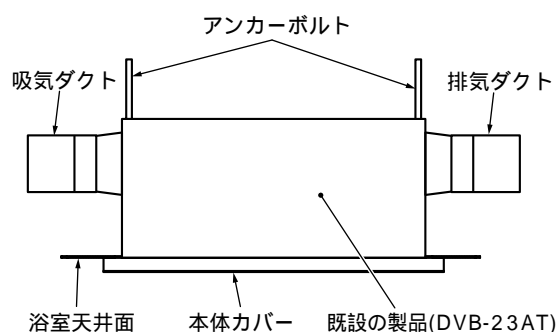
お願い

- ・買替製品に同梱の取付説明書を参照し、本体と排気口、吸気口、遮へい板が確実に取り付けられているか確認してください。
- ・天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付け前に行うか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

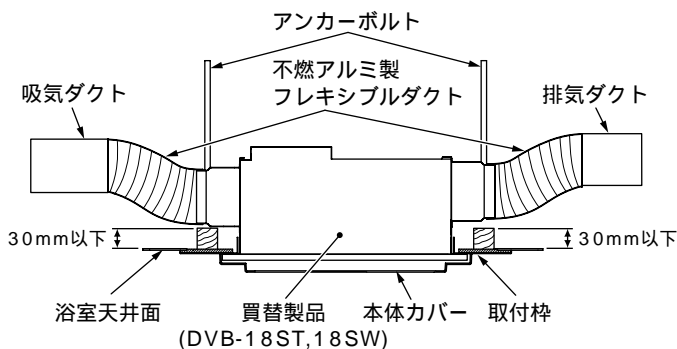


トラス3種タッピンねじ10本(M4×L25)

### 買替製品取り付け前(旧製品)



### 買替製品取り付け後(新製品)



## 7 本体カバーの取り付け

本体カバーを買替製品に同梱のトラス小ねじ(4本、M4×L10ステンレス)で本体に取り付けます。  
(取り付けかたの詳細は買替製品に同梱の取付説明書を参照願います)

## 8 吸気グリルの取り付け

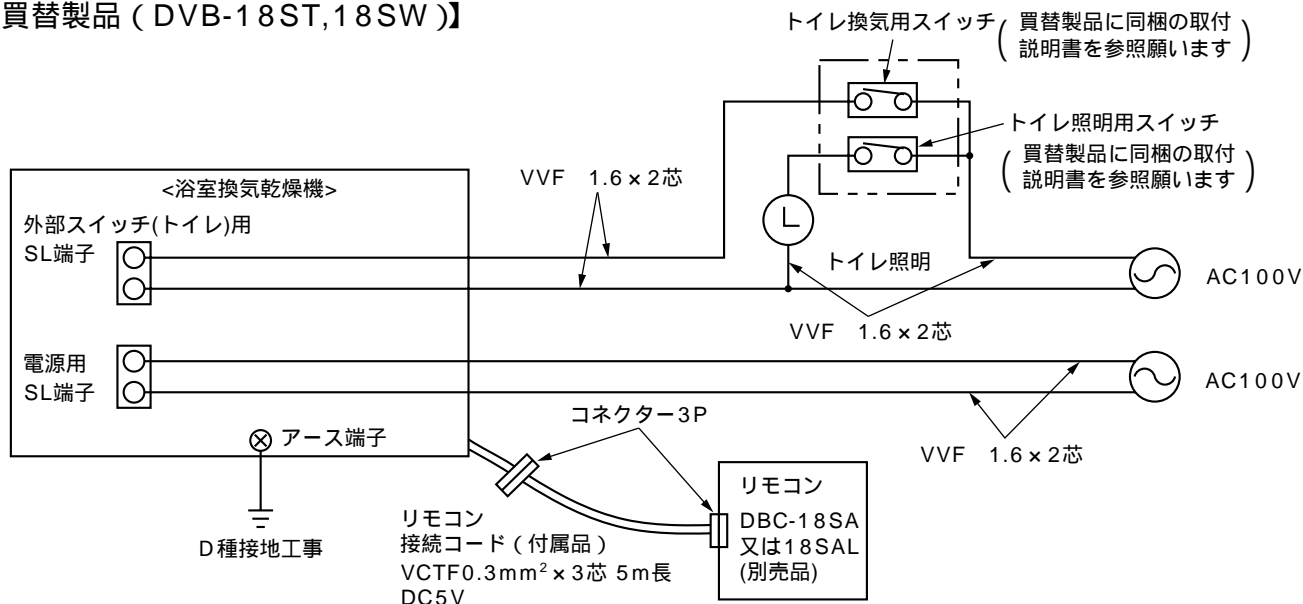
吸気グリルは買替製品に同梱の石膏ボード用アンカー(18ST:8本、18SW:4本)を使用し取り付けます。  
(取り付けかたの詳細は買替製品に同梱の取付説明書を参照願います)

## ⚠ 注意

電気工事は買替製品に同梱の取付説明書を必ず参照する  
電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士が行う

## 配線図

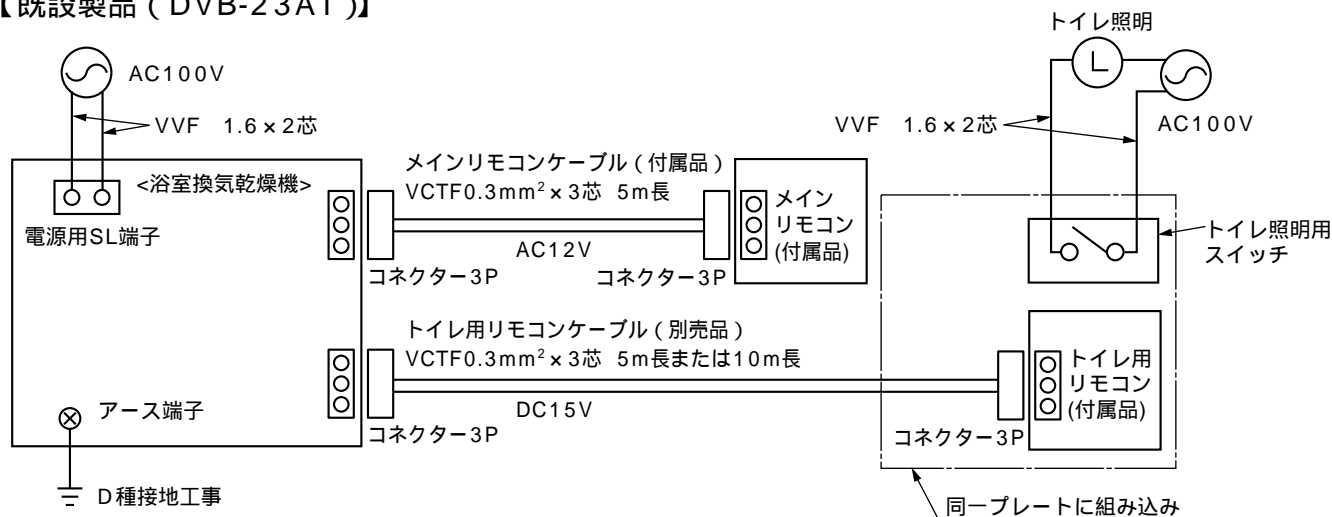
### 【買替製品 (DVB-18ST, 18SW)】



## お願い

- ・メインリモコンケーブルをリモコン接続コードに交換してください。
- ・外部スイッチを使用する場合、AC100Vを使用するため、再配線が必要になります。
- ・天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付け前に行うか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

### 【既設製品 (DVB-23AT)】



東芝キヤリア株式会社 換気統括部

〒108-8580 東京都港区高輪3-23-17 品川センタービルディング